

今月の新着本

火定	澤田 瞳子	銀河鉄道の父	門井 慶喜
彼方の友へ	伊吹 有喜	くちなし	彩瀬 まる
横浜開港時代の人々	紀田 順一郎	活版印刷三日月堂	ほしお さなえ
百貨の魔法	村山 早紀	時限捜査	堂場 瞬一
くまさん くまさん なにみてるの？		エリック・カール絵 ビル・マーチン文	

第158回直木賞ノミネート ※東野中学校コミュニティスクールにあります

ふたご 藤崎 彩織	大切な人を大切にすることが、こんなに苦しいなんて--。 彼は私の人生の破壊者であり想造者だった。 異彩の少年に導かれた少女。その苦悩の先に見つけた確かな光。 執筆に5年の月日を費やした、SEKAI NO OWARI Saoriによる初小説、ついに刊行
火定 澤田 瞳子	時は天平。藤原四兄弟をはじめ、寧楽の人々を死に至らしめた天然痘。 疫病の蔓延を食い止めようとする医師たちと、偽りの神を祀り上げて混乱に乗じる者たち--。生と死の狭間で繰り広げられる壮大な人間絵巻。
銀河鉄道の父 門井 慶喜	宮沢賢治は祖父の代から続く富裕な質屋に生まれた。家を継ぐべき長男だったが、賢治は学問の道を進み、理想を求め、創作に情熱を注いだ。 勤勉、優秀な商人であり、地元の熱心な篤志家でもあった父・政次郎は、この息子にどう接するべきか、苦悩した--。生涯夢を追い続けた賢治と、父でありすぎた父政次郎との対立と慈愛の月日。
彼方の友へ 伊吹 有喜	平成の老人施設でまどろむ佐倉波津子に、赤いリボンで結ばれた小さな箱が手渡された。「乙女の友・昭和十三年 新年号附録 長谷川純司作」。そう印刷された可憐な箱は、70余年の歳月をかけて届けられたものだった。昭和初期から現在へ。雑誌の附録に秘められた想いとは一。
くちなし 彩瀬 まる	別れた愛人の左腕と暮らす。運命の相手の身体には、自分にだけ見える花が咲く。獣になった女は、愛する者を頭から食らう。繊細に紡がれる、七編の傑作短編集。

〈利用できる日時〉 月・水・木・土・日曜日 午前9時～午後9時

〈利用できない日時〉 火・金曜日の休館日 年末年始（12月29日～1月3日）

〈交通〉 相模鉄道 三ツ境駅より徒歩20分

* 駐車場がありませんので、徒歩か自転車でお越しください。

* 東野中学校東門（老人ホーム東野園側）よりお入りください。